

校長室より

「天空高き」



第100号



平成29年9月12日

## 「楽学」 —その精神—

南東北でのインターハイで女子ハンドボール部が決勝戦まで駒を進めました。残念ながら後一步及ばず準優勝でした。これまで、インターハイ3位、春の選抜大会で3位の戦績を残していました。壮行会で主将が「日本一」を宣言していましたが、念願の優勝は果たせませんでした。しかし、彼女たちは見事に過去の壁を突破しました。



準決勝と決勝戦の試合をPCで観戦することができました。彼女たちの闘う姿勢・態度を見てみると、笑顔も見られ大会(試合)を楽しんでいるように思いました。毎日、学校のグラウンドでの練習風景や毎週のように続く遠征、合宿(いつも見ているわけではありませんが)では見ることもないその笑顔は、高水学園の精神的なシンボルである「楽学」を私に思い出させてくれました。

「楽学の石碑」は孔子の論語、第一章「学びて時に之を習う。亦説(よろこ)ばしからずや。朋有り(ともあり)、遠方より来たる。亦楽しからずや」から引用されたものです。

「楽学」の心意は、繰り返し繰り返し学ぶ(反復)ことによって、いつでも自由に操れるようになり、学ぶこと自体が楽しくなる、ということです。

彼女たちの見事なコンビネーションとそれを可能にしている体力・技術・精神力は日々の厳しい鍛錬の賜物だと思います。その努力が見事に大会で花を咲かせました。彼女たちの試合から伝わってくる熱い思いは、私たちに深い感銘を与えてくれました。

女子ハンドボール部がいつも口にしています「感謝」。感謝の気持ちを表すためには、素直さと謙虚さが必要です。部訓である「辛抱」は、目標を達成するためには何度も失敗しても諦めない強固な意志と継続性が必要です。

「辛抱」と「感謝」で、彼女たちは楽学の精神を見事に具現化してくれました。高水学園は今年で創立120年になりますが、楽学の精神が脈々と引き継がれていることに、改めて歴史の重みと伝統の深さを感じました。

## 9月の目標「先を見越して行動する」 当たり前前を当たり前前に

2学期がスタートして約2週間経過しました。保健室の先生から、「この時期いつもなら心身の不調を訴えてくる生徒が多いのに、今年はほとんどいません」という、うれしい報告を受けました。

1学期の大きな変化として、皆さんが5分前行動を意識するようになり、8時15分には校門で生徒の登校の姿がなくなりました。

2学期に入ると、さらに進化して、8時10分にはほとんど生徒の姿を見かけることがなくなりました。また、遅刻や欠席する生徒も少なくなったとの報告も受けました。

たった5分ですが、5分前に先を見越して行動できるようになったということは、素晴らしいことです。全校生徒で、722名×5分=3,610分。約60時間が有効に活用されていることとなります。

皆さんも耳にしたことがあると思いますが、「早寝早起き朝ごはん」国民運動というのが、今から10年以上前から展開されています。その真意は、子どもたちの生活リズムや生活習慣全般を見直していくことが、この運動の主眼です。

皆さんが健やかに成長するためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。ところが、近年、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という、成長期の皆さんにとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣が大きく乱れています。また読書や挨拶など、今までなら当然だとされていたことも当然ではなくなってきました。

皆さんがこれからの学校生活や社会生活を実のあるものにするためにはやはり、規則正しい生活習慣を身に付けていることが根幹となります。当たり前前を当たり前前に続けることで本物となります。そのためにも、5分前行動を継続してください。

## 「ちょっとステキな言葉」 夏の甲子園初V 花咲徳栄監督 岩井隆

### 「当たり前前ができていないと、当たり前前のプレーはできない」

「日本一は富士山の山登りと一緒。一瞬一瞬、一球一球が、一歩だった」。喜び選手の姿をやさしい目で見つめながら、しみじみ思った。

・・・夏の大会直前。練習前のグラウンドに前日、片づけ忘れたボールが二つ落ち

## 9月 月間目標

一歩先を見て行動！

平成29年度  
チャレンジ目標

1. 先に元気なあいさつ
2. 5分前行動
3. 1%を誰かのために

校長室より

ていたことで選手に雷を落とした。「当たり前ことができていると、当り前のプレーはできない」。この件以降、チームが引き締まったと感じている・・・

## 科学する心でつくばへー科学の甲子園ジュニア県大会ー

山口県下の中学生がチームを組み、科学に関する知識や技術を競う「第5回科学の甲子園ジュニア県大会」が8月26日、山口市のセミナーパークで開催されました。

この大会は、中学生を対象に、「科学好きの裾野の拡大」、「未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材の育成」、「考える力とコミュニケーション能力の育成」の3つを目的に開催されています。

14校75人（25チーム）が参加し、らは3チームエントリーしました。

3人一組でチームを組み、筆記競技（化学・地学・プログラミング分野）150点満点と実技競技、300点の合計450点で競いました。

実技では、60分以内に輪ゴムや発泡ボード、コルク片などで決められた材料でプロペラカーを作り、約7m離れたゴールに止める正確さを競いました。そして、計測時の誤差を10センチにとどめて1位に輝いたのは、本校から出場した高水Cチームの1年生トリオ（池本佳希・田中悠斗・水中寛登）でした。高水Aチームは10位、高水Bチームも6位と大いに健闘しました。

優勝した高水Cチームは、準優勝した山口大付属山口中Bチームと、12月1日に茨城県つくば市で始まる全国大会に出場します。全国の舞台でもお互いのコミュニケーション能力を図り、チームで協働して課題に向けて解決する能力をフルに発揮してもらいたいと思います。そしていつでも、どこでも、どんな時でも、Don't forget to smile! 笑顔を忘れず、大会を楽しんでください。



力の運命

中野光輔

ゴミのように扱われ

たたかれて 殺される

メスはたまごを産むために

必死にすう 動物の血

ちゅう入される カのだ液

力は いつもたたかれる

世界中のどこでも

（仙台市・八幡小5年）

# 「天空高き」—高水学園創立 120 周年 卒業生のコラム—

中国新聞の「防長路」の欄に、9月から来年の3月まで毎月第2・第4金曜日に、高水学園創立120周年を記念して、卒業生コラムを掲載していただくことになりました。

第1回目は弘兼憲史先生です。2回目以降も各界で活躍されている同窓生が寄稿されています。是非皆さんも一読して感想等があれば遠慮なく校長室までお越しください。

## 防長路

### 卒業生コラム 高水学園120周年

## 天空高き

お楽しみはこれからだ



高水の後輩  
勉強ばかりですもんじやない  
会長 鳥耕作

## 寮生活 尽きぬ思い出



弘兼 憲史  
(1966年卒)  
漫画家

①  
早いもので高水高を卒業してから、もう51年になる。最近では昨日夕食に何を食ったか思い出せないが、半世紀以上に過ぎた高水付属中、高水高の思い出はしっかりと残っている。

### 面白半分で入居

特に鮮明に残っているのは寮での生活だ。遠方から来る生徒のために運動場の片隅に造られた学生寮だが、近くに住んでい

入学試験の時は、まだ整地されていない運動場で、受験に来た他の生徒と砂玉合戦をやった。入学してからは個性の強い入寮した。

入寮した。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

面白半分に入居。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

面白半分に入居。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

面白半分に入居。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

### 学友や先生描く

面白半分に入居。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。

面白半分に入居。先生方は楽しい(?)授業、共通テスト、海洋訓練、キャンプ、サイクリング、登山、体育祭での仮装行列、九州一周の修学旅行等、ここに書き切れないほどの思い出がある。